

「2050年脱炭素社会に向けた企業の取組」 経団連チャレンジ・ゼロの取組 の観点から

2021年1月27日
積水化学工業株式会社
ESG経営推進部

（15分）



積水化学グループにおける気候変動課題への取り組み

長期ゴール設定

施策・事業展開の戦略立案

サプライチェーン連携の推進



積水化学グループについて





事業ドメイン



グループビジョン：世界のひとびとの暮らしと地球環境の向上に貢献



Vision 2030 でめざす姿



- ESG経営を中心においた革新と創造で、社会課題解決への貢献を拡大し、2030年に業容倍増（売上2兆円、営業利益率10%以上）を目指す

Innovation for the Earth

サステナブルな社会の実現に向けて、
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します

売上2兆円

営業利益率10%以上

ESG経営を中心においた革新と創造

レジデンシャル
(住まい)

アドバンス
ライフライン
(社会インフラ)

イノベーティブ
モビリティ
(エレクトロニクス/移動体)

ライフ
サイエンス
(健康・医療)

ネクストフロンティア

加工・先取り変革

ひとりひとりの挑戦

企業統治

ビジョン
ステートメント

ターゲット
(数値目標)
(戦略の方向性)

ドメイン(事業領域)

ケーパービリティ
(組織能力)



製品を通じた環境貢献の考え方

SEKISUI

SEKISUI は、製品を作るときだけでなく、お客様に使っていただくときも、環境や社会の課題解決に貢献できる製品づくりに取り組んできました。

目標は、2030年までに、サステナブルな社会を実現させること。そのために、積水化学グループは、社内の取り組みだけでなく、サプライチェーンにおいても、お客様の手に渡ってからも、自然と社会の課題解決に貢献し続ける製品づくりに取り組んできました。LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造する企業でありたい。それが、私たちの願いです。

SEKISUIが「作る」ことで貢献できること。

製品を生み出す側の責任として、自社内の環境・社会への配慮を徹底。原材料の調達から製品開発、そして工場での生産にいたるまでの製品ライフサイクルの全てにおいて、環境への負荷を低減し、倫理・規範を順守しています。

- ①原料調達
倫理に即した取引先を選び、責任ある行動を働きかける
- ②製品開発
サステナビリティ貢献製品を企画・開発する
- ③生産
多様な人材を採用し、従業員の安全や地球環境に配慮したもののづくりを推進する
- ④物流
地球・社会への影響を配慮してお客様に届ける



お客様が「使う」ことで貢献できること。

お客様に製品をお使いいただくことで、再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの削減や、資源の有効活用、健康寿命の延長など、地球や社会への様々な貢献を実現しています。

製品のライフサイクルすべてにおいて環境に配慮するだけでなく、お客様が「使う」ことで課題解決に寄与できるような製品を拡大する

「レジリエントなまちづくり」

街への広がり意識した高性能住宅・住関連サービスの提供で、
人々の安心・安全・快適な暮らしを支える。

① エネルギーの未来に貢献



② 安心・安全な暮らしの提供



③ 健康寿命の延長



「レジリエントなインフラ」

耐久性が高く、軽く、易施工のプラスチック管により、**安心・安全なライフラインや水環境づくりに貢献。**

① 持続可能な都市基盤構築



② 水リスクの低減



③ 長寿命化による資源の有効活用



「ひとの健康を支える」

病気の早期発見・早期治療を可能にし、治療効果を高める医薬品開発を支援することにより、**健康寿命の延長に貢献。**

健康寿命の延長



「通信・交通インフラの強靱化」

高付加価値材料の提供により、材料の製造段階および製品の使用段階での省力化、省資源化に貢献。**社会システムの強靱化を素材から支える。**

① 省力化によって温室効果ガス削減に寄与



② 安心で快適な暮らしの支援



③ 災害に強いまちづくりに貢献



住・社会のインフラ創造

ケミカルソリューション

Vision 2030 LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します



ライフサイクルのすべての段階において サプライチェーンと連携した取り組みを推進

長期ゴールの設定

**S B T 認定
取得** (2030年
GHG削減目標設定)

**2050年 G H G
排出ゼロ目標設定**

**SEKISUI環境サステ
ナブルビジョン2050
設定**

施策・事業展開の 戦略立案

**TCFD賛同
情報開示**

**温暖化貢献
投資促進策推進**

**再エネ転換
支援策展開**

**課題解決に資する製品・
事業の開発と拡大**

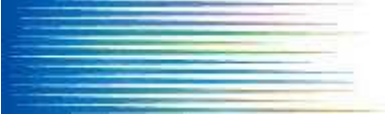
サプライチェーン 連携の推進

**S B T 認定
取得** (2030年
GHG削減目標設定)

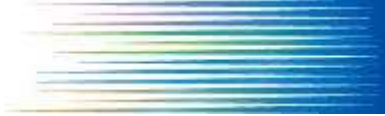
**RE100、JCLP
加盟**

**経団連、日化協、
JCI、その他イニシ
アチブ参画**

Vision 2030 でめざす姿を達成するロードマップに反映

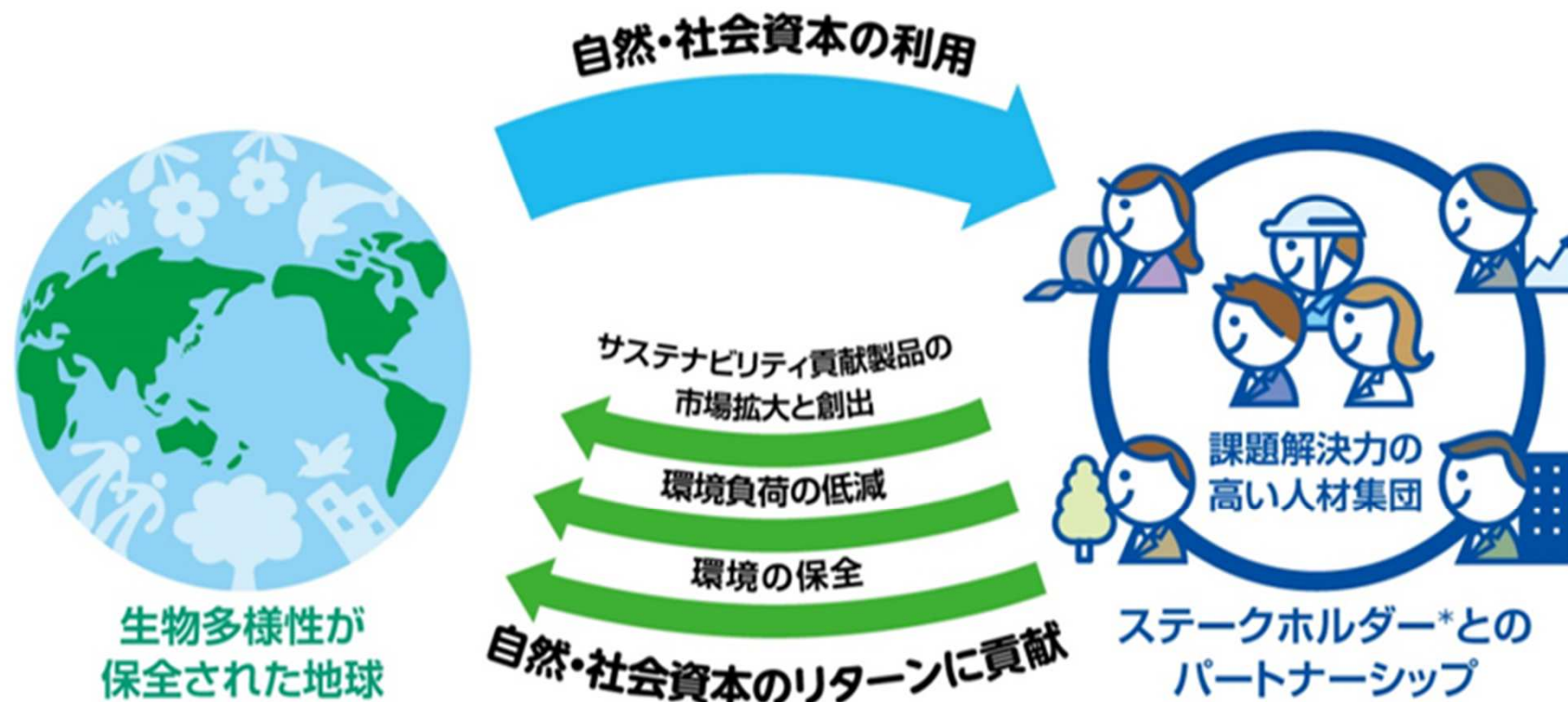


長期ゴール設定





「SEKISUI環境サステナブルビジョン2050」



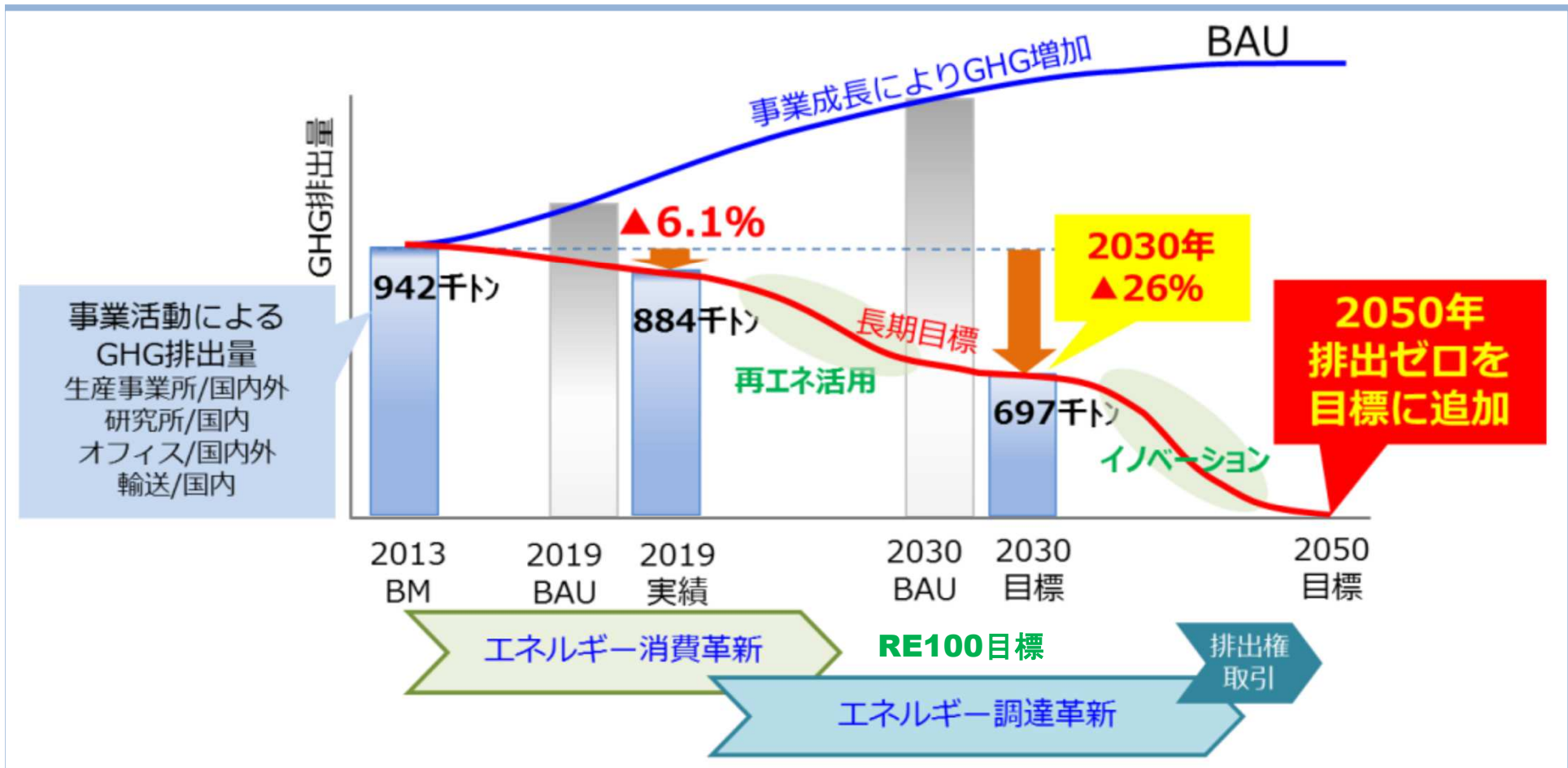
*ステークホルダー：「お客様」、「株主」、「従業員」、「取引先」、「地域社会・地球環境」

ステークホルダーと連携し、**2050年**を見据えた環境課題解決を加速



GHG削減ロードマップ

SEKISUI



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

RE100

CLIMATE
GROUP





施策・事業展開の戦略立案



[TCFD]シナリオ分析の活用

気候変動を抑制するため様々な施策が取られるシナリオ

(A)脱化石スマート社会



都市集中が進むシナリオ

(B)循環持続社会



地方分散が進むシナリオ

(D)大量消費社会



(C)地産地消社会



気候変動により気温上昇して災害頻発に備えるシナリオ

シナリオ分析によって、企業リスクを把握し、早期に取り組むことがチャンスであると考えて、施策、戦略を展開

「サステナビリティ貢献製品制度」: 社会課題解決に寄与する製品の創出を拡大を後押し



社会課題解決への貢献を持続するための視点も強化し、
「温暖化抑制」「社会インフラの強靱化」「健康寿命の延長」
など社内基準に基づいて事業・製品の課題解決に関する創出、拡大を加速

気候変動への取り組み、激甚化する自然災害への対応のために

- 家庭をはじめとした電力使用量増加に対し、エネルギーの効率利用・再エネ化に貢献
- 自然災害等で増加している停電時のライフライン確保に貢献



常滑 生産ライン

10月より本格稼働



『スマートパワーステーションFR GREENMODEL』

10月発売

大容量・長寿命な次世代型リチウムイオン電池

独自技術により、リチウム電池のフィルム化を実現。
薄くて軽量、多様な形状に追従できるうえ、
高容量化も可能。高い安全性と耐久性も
兼ね備えています。



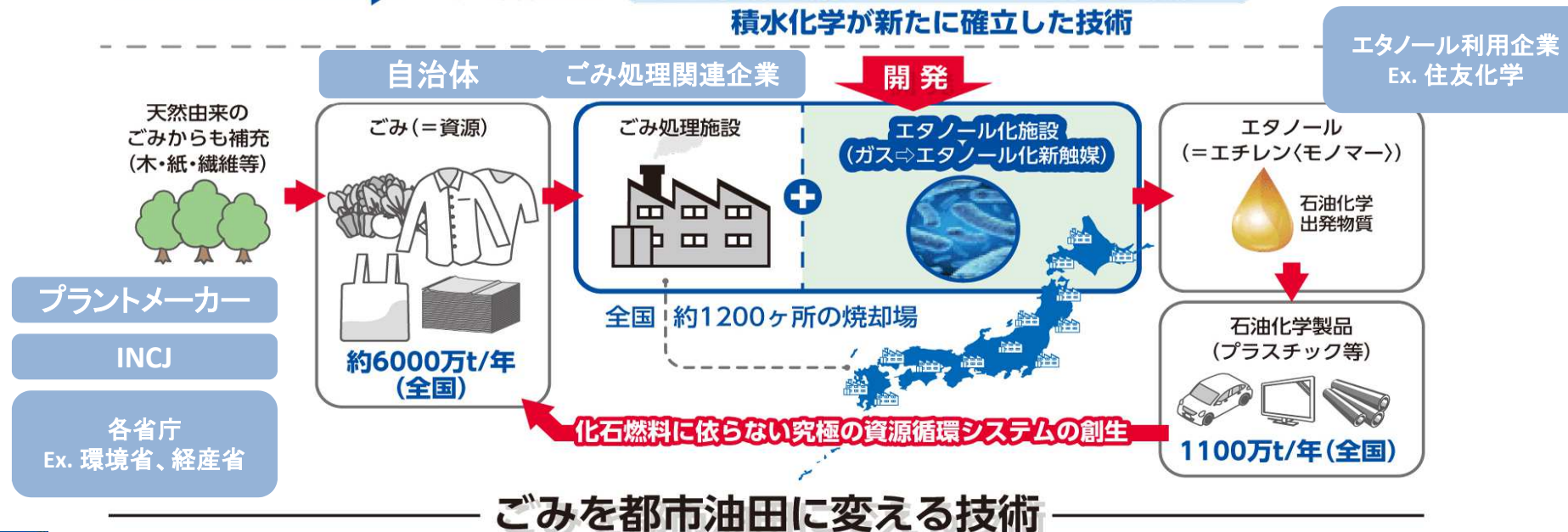
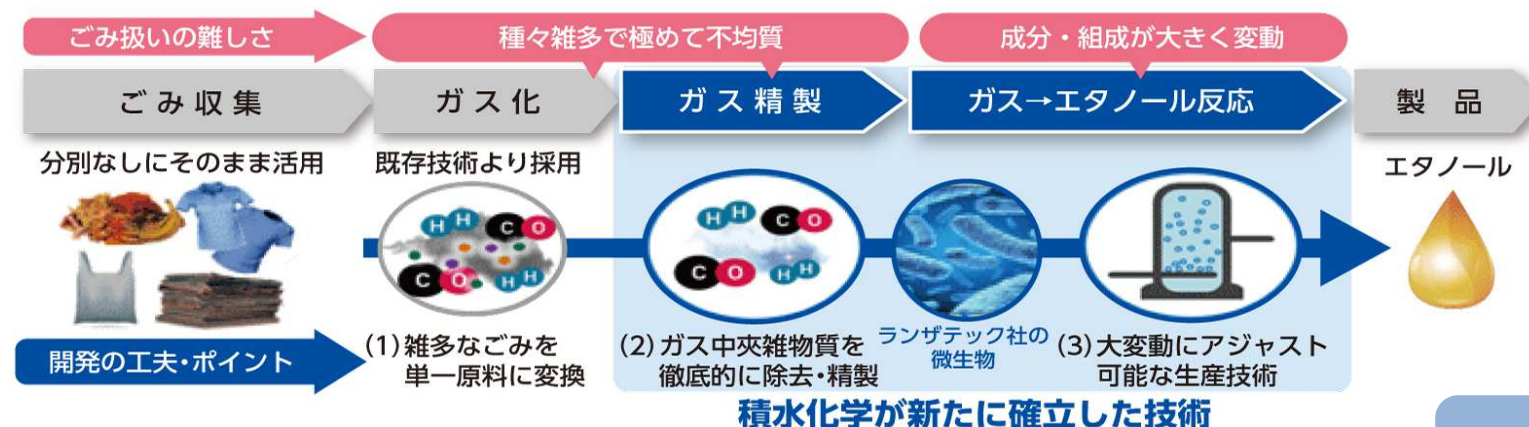
自給自足型社会へ貢献



イノベーション事例 2 BR

CCUS、サーキュラーエコノミーの実現に寄与

ごみ処理施設に収集されたごみを一切分別することなくガス化し、このガス（COとH₂）を微生物により、エタノールに変換する技術を確認。C回収、固定化が可能。





サプライチェーン連携の推進



■イノベーション事例2 BR

寄居パイロットプラント
(1/1000スケール)



[技術・原材料]
ランザテック社
：微生物、ライセンス活用

[技術立証]
オリックス資源循環(株)
：ごみ処理施設活用

ごみ

Carbon Recycle

[事業化] INCJ連携：合併会社設立

プラスチック

[再生材活用]
住友化学(株)
：樹脂化

エタノール

[スケールアップ実証]

・岩手県久慈市 連携
・東芝エネルギーシステム(株)
：CO2分離回収試験装置製造



開発前



久慈
実証プラント
建設現場
(1/10スケール)

最後に



2050 G H G 排出ゼロ を目指し、脱炭素社会の実現に寄与
2030までに購入電力を100%再エネに転換
社会を変えていくために、種々イニシアチブに参画し、企業連携



チャレンジ・ゼロに賛同し、
イノベーションによって脱炭素社会の実現を加速

世界にまた新しい世界を。

A new frontier, a new lifestyle.

SEKISUI